

ましみずの里



No. 6
R 元. 10. 30
校長
海老洋一

～自分で考え、みんなで学び合い、くらしを自分たちで考えてつくる子どもを育みます～

『ましみず学習発表会』のふりかえり

＜10月26日 ましみず学習発表会の閉会式で、子供達へ話をしました。＞

どの学年も、自分たちが学習してきた内容の発表をつくっていくという大事な学習を積み上げてきました。きっと、自分の台詞をなかなか覚えられなかった人もいたかもしれません。また、発表が恥ずかしくて、どきどきした人もいたかもしれません。声がなかなか大きく出せなくて、勇気を出す難しさを感じた人もいたかもしれません。でも、昨日の自分よりも、今日はずっとがんばれるように、自分のことを振り返り、どうしたらもっとよくなるかに気づき、またわからないことやできないことをみんなで学び合いながら、どの学年も、みんなで発表をつくりあげてきました。ですから、みなさん一人一人のがんばりが、とてもよくわかりました。伝わりました。発表した順番で私の感想をみなさんに伝えます。

2年生：『チャレンジ学年 高揃ニュース』

生活科で2年生は1学期から地域探検の学習に取り組んでいました。でも、探検すればするほど、もっと知りたい、調べに行きたい、そしてわかったことをみんなに知ってほしいという思いを持って2学期からも学習が進んでいきました。それも、みんなに楽しく伝えるようにニュース番組を見ている発表の方法でした。とても工夫されていました。さらに、1学期から一人一人が野菜を、そして全員でサツマイモやトウモロコシ、枝豆などを育てて収穫してうれしかった気持ちをどう表そうかと考えて、「お祭り」という詩をみんなで読みました。それも普通の読み方ではなく、うれしい気持ちを込めて、お祭りでの楽しい様子やおみこしを担いでいる様子が目に浮かぶように、グループに分かれて、詩の言葉と言葉の重なり合い、響き合いを工夫した、群読に挑戦しました。膝を曲げながら体全体で表現している、2年生のチャレンジしている学習の姿に、私は「すごいなあ。」とびっくりしました。



1年生：『大きなかぶの劇』

入学してから7カ月、毎日勉強して、一人一人のできることがどんどん増えている1年生。今日は、国語で勉強した『大きなかぶ』の話をもとに、「大きな声と動きを、見てくださる人に楽しんでもらう」というめあてをたてて、学習に取り組みました。おじいさんからねずみまで、みんなで力を合わせても抜けなかった大きなかぶが、最後は1年生全員の力で、抜くことができました。学習はまず、自分一人ががんばることは大切なことです。でも自分だけではできないこと、わからないことは友達みんなと力を合わせて、一人一人がみんなのことをわかろうと協力しながら、学び合いながら学習していくことも大切なことです。今日の1年生の発表は、そのことを表現してくれたと思っています。内容もすごくよく伝わり、素晴らしかったです。



＜高揃ふるさと学習 『たったか高揃』へのご理解とご協力へ感謝＞

湧水



願生坊廟所



八幡神社



羽陽短期大学



一緒に歩いたり、交通指導をしたり、協力いただいた保護者の皆様、説明くださった地域づくり委員会と施設の皆様。児童の安全を見守りながら、縦割り班での学習活動を支えて下さり、ありがとうございました。

3年生・4年生：『合唱 YUME 日和 世界に一つだけの花』

2曲を披露してくれました。聞いていたみなさん、どんな感想を持っていますか。実は24日(木)に市の小学校音楽会がありました。その時も同じ曲で発表しましたが、3・4年生の家の人はもちろん、そして他の学校の保護者の方々からも、「魂がこもっている元気な歌声、そして一生懸命に歌っている姿に感動しました。」というたくさんの方が学校に届きました。歌を聴いている人を感動させる力のある3・4年生を私はすごいと思っています。では、3・4年生はどんな学習を積み上げてきたのでしょうか。私は3つ考えました。1つ目は、一人一人がこの2曲を自分はどうのように歌いたいか、しっかり自分のめあてを持って学習に取り組んだからだと思います。2つ目は、3・4年の先生はもちろん、歌を教えてくださいました先生方からのアドバイスを聞いて、まず自分でやってみて、今の自分の歌い方や気持ち、歌い方をもっとよくしようと一人一人ががんばったからだと思います。そして3つ目。自分だけががんばってもいい曲にはなりません。自分の声、友達の声をしっかり聴きながら歌いこんで、声だけでなく心も合わせたからだと思います。自分の心を開き、一生懸命にみんなで2つの曲を創り上げることは大切な自分の学習だということを、一人一人が自分なりにしっかりと取り組んだ結果だと思います。その中で、たった一人で歌った友達、そしてグループで歌った人もいました。その人達も含めて、私はみんながすごい歌唱力と表現力を発揮したと思っています。みんな一人一人が自分の声を精いっぱい発揮して歌っていました。世界に一つだけの花の歌詞にもあるように、ナンバー1にならなくてもいい、高揃小のみなさんはもともと特別なオンリーワン。「一人一人が自分の学習に向かっていく、そしてみんなで学習を創り上げていく、一人一人が大切な子ども達です。」というメッセージが込められていた合唱だと思いました。



5年生：『米づくり物語～みんなでつくろうレッツチャレンジ米』

今日の発表は、今の6年生が米祭りの学習発表を昨年度行って、5年生はその時、米の魅力や米づくりの楽しさを教えてもらったので、自分達も米づくりをして育ててみたいという思いや願いから始まっているのです。私は上の学年が行った学習をもとに、自分達も実際に学習をしてみるという、下の学年に学習がつながっていることにまず、うれしさやすごさを感じています。そして、一人一人が責任を持って学習に取り組めるように4つの課、役割に分けて、そして田おこしから稲刈りまで6つの場面を分担して発表していました。見ているみなさんに、米づくりの苦労や大変さ、収穫の喜びが伝わるように、クイズ形式を取り入れたり、小道具を作ったり、難しい言葉を画用紙に書いたり、わかりやすい表現の工夫がたくさん見られました。そして何よりも5年生は全員でこの発表を創り上げようと、みんなで学び合いながら取り組みました。このましまず発表会の学習が6年生に向かって進んでいく、5年生の力にすごくなっていると、大変うれしくなりました。



6年生：『朝から晩までハッカニュース』

6年生も今日の発表は、昨年度の6年生、今の中学校1年生が行ったハッカの学習を聞いたところからスタートしています。「高揃ハッカをもっと、学校のみならず保護者のみなさん、地域のみなさんにも伝えて、知ってもらいたい」という思いや願いから、「自分達が最高学年としてがんばっている姿や成長したい姿を見せたい、伝えたい。」と今日の発表を創り上げてきました。そもそもハッカとは何?から、高揃に伝わってきたことや石山伝次郎さんが北海道へ屯田兵として行って広め、今の北見のハッカの礎を築いたこと、そしてハッカ油の石鹸やハッカの料理等、これまで学習してきたことをわかりやすく伝えるためにテレビ中継風にして表現しました。実は、6年生は1学期から地域の「ハッカの風プロジェクト」の方々と一緒に学習したり、夏から自分の家で育てたりして学習を進めてきました。2学期からは校長室の前にもハッカコーナーを作って、学校にいらっしゃるお客様にもPRしています。発表の中にもありましたが、高揃小学校のHPにもハッカルームを作って、学習の様子を知らせています。発表の中に、「ハッカは高揃の宝です」というセリフもありましたが、私はまさにその通りだと思いました。1年生から5年生までのみなさん、6年生のこの思いを受け止めて、いつか自分達の新たなハッカの学習を引き継いでほしいと、私は願っています。

